

おはなしを よもう

なまえ

◎よんで こたえましょう。

「㊦どきどきするね。」

ぼくのまえで まっていた たいちくんが、はなしかけてきた。

「㊦うん。」

たいちくんは、にこにこしていたが、ぼくはほんとうに どきどきしていた。

「つぎは、たいちくんのばんです。」

と、せんせいが いった。

たいちくんは、おもいきりはしって ふみきりばんをつよくけた。

「どん。」

とおとがして、たいちくんは とびばこを とんだ。

「㊦やったね。おめでとう。」

せんせいは、そういつて ぼくのほうを みた。

「さあ、がんばってみようか。」

ぼくの しんぞうのおとが はっきりと きこえた。

てを ぐつとにぎると、てのひらから あせが でてきた。

ぼくは つばをのみこむと、ぎゅっと 目をつぶった。

㊦

、目をあけてとびば

こをみた。「いくぞ。」と こころのなかでつぶやいて とびばこへ むかつてはしった。

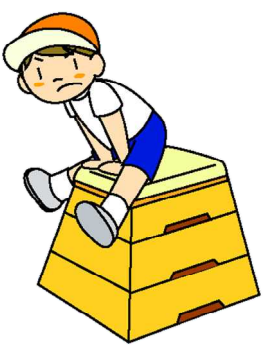
ふみきりばんを ふみきって、とびばこを うしろに おしていくように てをおもいきり うごかした。

マットの 上に のったとき、ころびそうになった。

㊦

、とびこえることが

きた。



① ㊦、㊦、㊦のことは、ぼく、せんせい、たいちくんのうち、だれがいったことばですか。

「㊦どきどきするね。」

()

「㊦うん。」

()

「㊦やったね。おめでとう。」

()

② たいちくんは、どのようにとびばこをとびましたか。たいちくんのようにすにあっているものに○をつけましょう。

○ ふみきりばんをふみきって、とびばこをおすように てをうごかした。 ()

○ おもいきりはしって ふみきりばんをつよくけた。 ()

○ とんだときに、「どん。」と おどがした。 ()

③ ぼくは、とびばこを とぶまえに、こころの中で どんなことを かんがえていたか。ふきだしにかきましょう。



④ ㊦、㊦には、どんな ことばが あてはまりますか。ただし くみあわせの

ものを えらびましょう。

1 ㊦ そして ㊦ さらに 2 ㊦ しかし ㊦ そこで

3 ㊦ それから ㊦ でも 4 ㊦ また ㊦ ところが

おはなしを よもう（こたえの れい）

なまえ

◎よんで こたえましょう。

「[㊦]どきどきするね。」

ぼくのまえで まっていた たいちくんが、はなしかけてきた。

「[㊦]うん。」

たいちくんは、にこにこしていたが、ぼくはほんとうに どきどきしていた。

「つぎは、たいちくんのばんです。」

と、せんせいが いった。

たいちくんは、おもいきりはしって ふみきりばんをつよくけた。

「どん。」

とおとがして、たいちくんは とびばをとんだ。

「[㊦]やったね。おめでとう。」

せんせいは、そういつて ぼくのほうを みた。

「さあ、がんばってみようか。」

ぼくの しんぞうのおとが はっきりと きこえた。

てを ぐつとにぎると、てのひらから あせが でてきた。

ぼくは つばをのみこむと、ぎゅつと 目をつぶった。

㊦

、目をあけてとびば

こをみた。「いくぞ。」と こころのなかでつぶやいて とびばへ むかつてはしった。

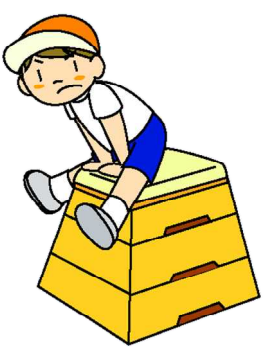
ふみきりばんを ふみきって、とびばを うしろに おしていくように てをおもいきり うごかした。

マットの 上に のったとき、ころびそうになった。

㊦

、とびこえることが

きた。



① ㉞、㉟、㊱のことばは、ぼく、せんせい、たいちくんのうち、だれがいったことばですか。

「㉞どきどきするね。」

(たいちくん)

「㉟うん。」

(ぼく)

「㊱やったね。おめでとう。」

(せんせい)

② たいちくんは、どのようにとびばこをとびましたか。たいちくんのようすにあっているものに○をつけましょう。

○ ふみきりばんをふみきって、とびばこをおすように てをうごかした。 ()

○ おもいきりはしって ふみきりばんをつよくけた。 ()

○ とんだときに、「どん。」 おとがした。 ()

③ ぼくは、とびばこを とぶまえに、こころの中で どんなことを かんがえていましたか。ふきだしにかきみましょう。

(こたえの れい)

どきどきするな。とべるかな。

・たいちくんみたいに、ぼくもとびたいな。がんばるぞ。

いよいよぼくのばんだ、いくぞ。

※どきどきするきもちや、がんばってとぼうとするきもちがかかれています。



④ ㉞、㉟には、どんな ことばが あてはまりますか。ただし くみあわせの

ものを えらびましょう。

1 ㉞ そして ㉟ さらに 2 ㉞ しかし ㉟ そこで

3 ㉞ それから ㉟ でも 4 ㉞ また ㉟ ところが

しを よもう

なまえ

◎つぎの しを よんで、こたえましょう。

虫のこえ

あれ まつむしが ないている

ちんちろ ちんちろ ちんちろりん

あれ ずむしも なきだした

りんりんりんりん りいんりん

あきの よながを なきとおす

ああ おもしろい むしのこえ

きりきりきりきり こおろぎや

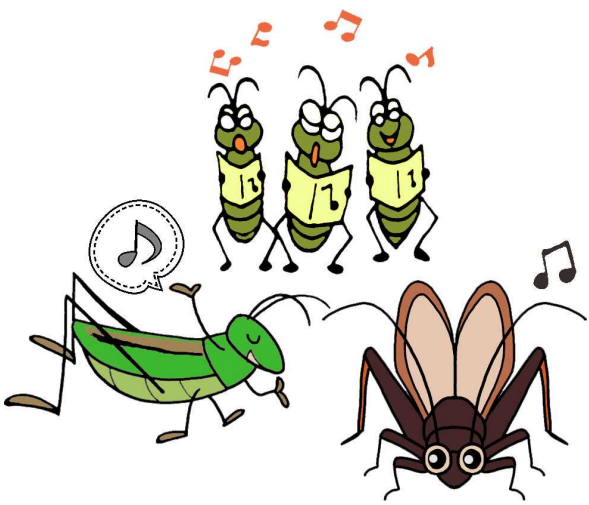
がちゃがちゃがちゃがちゃ くつわむし

あとから うまおい おいついて

ちよんちよんちよんちよん すいっちよん

あきの よながを なきとおす

ああ おもしろい むしのこえ



①「あれ まつむしが ないている」とおなじリズムの文を 二つ かきましょう。

(

)

(

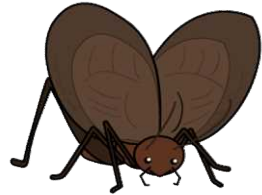
)

②この しには、ぜんぶで なんびきの虫が 出てきますか。

(

)

③つぎの虫となぎごえを せんで つなぎましょう。



すずむし

•

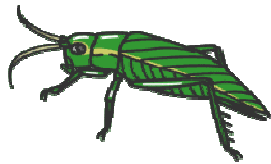
ちよんちよんちよんちよん
すいっちよん



うまおい

•

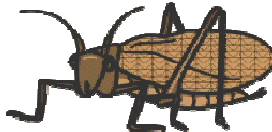
りんりんりんりん
りいんりん



まつむし

•

がちやがちやがちやがちや



くつわむし

•

ちんちろ ちんちろ
ちんちろりん

④このしは どんなかんじでよんだら よいですか。 よいものに○をつけましょう。

㊦ かなしそうに ()

㊥ たのしそうに ()

㊧ さびしそうに ()

⑤ ことばの リズムに きをつけて、三かい おんどく しましょう。

(よんだら、○をつけましょう。)

一かい目

二かい目

三かい目

しを よもう(こたえ)

なまえ

◎つぎの しを よんで、こたえましょう。

虫のこえ

あれ まつむしが ないている

ちんちろ ちんちろ ちんちろりん

あれ すずむしも なきだした

りんりんりんりん りいんりん

あきの よながを なきとおす

ああ おもしろい むしのこえ

きりきりきりきり こおろぎや

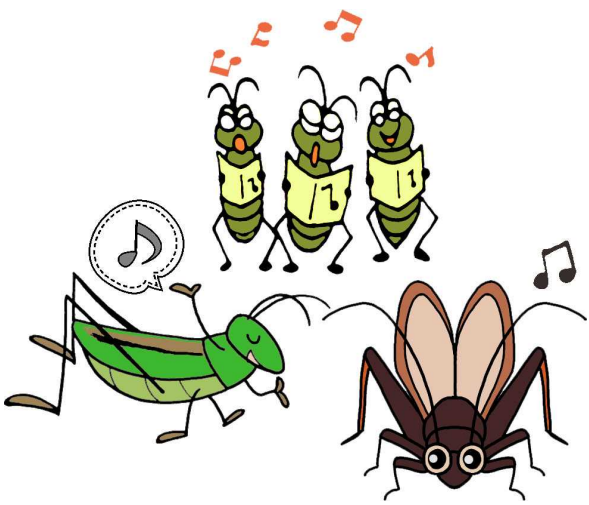
がちゃがちゃがちゃがちゃ くつわむし

あとから うまおい おいついて

ちよんちよんちよんちよん すいっちよん

あきの よながを なきとおす

ああ おもしろい むしのこえ



①「あれ まつむしが ないている」とおなじリズムの文を 二つ かきましょう。

(あれ すずむしも なきだした)

(ああ おもしろい むしのこえ)

②この しには、ぜんぶでなんびきの虫が 出てきますか。

(五ひき)

③ つぎの虫となぎごえを せんで つなぎましょう。



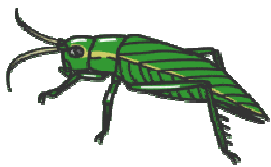
すずむし

ちよんちよんちよんちよん
すいっちよん



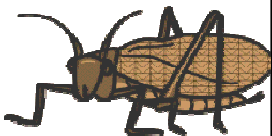
うまおい

りんりんりんりん
りいんりん



まつむし

がちやがちやがちや



くつわむし

ちんちろ ちんちろ
ちんちろりん

④ このしは どんなかんじでよんだら よいですか。 よいものに○をつけましょう。

㊦ かなしそうに ()

㊥ たのしそうに (○)

㊧ さびしそうに ()

⑤ このばの リズムに きをつけて、三かい おんどく しましょう。

(よんだら、○をつけましょう。)

一かい目

○

二かい目

○

三かい目

○

ぶんを よんで かんがえよう

なまえ

◎つぎの ぶんを よんで、こたえましょう。

かおるさんは、おかあさんに おべんとうをつくらしてもらいました。

おかあさんは、どのように おべんとうをつくったのでしょうか。

へ おべんとうの つくりかた

はじめに、ボウルのなかに たまごを わって さとうを いれて よくまぜます。

それから、フライパンでやいて たまごやきをつくります。

つぎに、ウィンナーに ほうちようで きりこみを いれてから おなべで ゆでて、

たこさんウィンナーをつくります。

それから、ほうれんそうを フライパンでいためて、しおを いれて あじをつけま
す。

、たきたての ごはんをにぎって、のりでまいて

おにぎりを ニー つくります。おにぎりの なかみは、

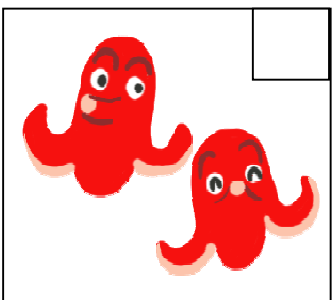
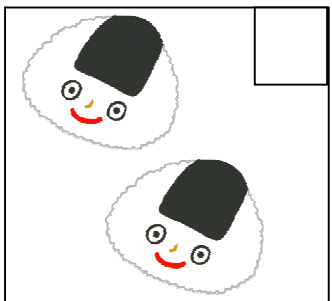
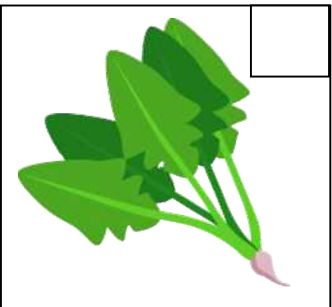
かおるさんの だいすきな さけと うめぼしです。

できあがった おにぎりとおかずを おべんとうばこの

なかに ぜんぶいれて、かんせいです。



① おかあさんが つくった じゅんばんに ばんごうを かきましよう。



②おべんとうをつくるときに つかった どうぐの くみあわせで ただしものは
どれでしょうか。○をつけましょう。

ア ほうちょう フライがえし おさら ()

イ フライパン ボウル ほうちょう ()

ウ ボウル まないた おなべ ()

③おかあさんは、どうして おにぎりの なかみを さけと うめぼしに したのです
か。あてはまることを かんがえて、ハもじで かきましょう。

さけと うめぼしは、

--	--	--	--	--	--	--

だから。

④

--

 にはいる ことばとして よいものに、○をつけましょう。

ア また イ しかし ウ それでも エ さいごに

⑤ かおるさんは、おべんとうをもって、えんそくに いきました。そして、いえに
かえってから おかあさんに てがみを かきました。 かおるさんに なったつもり
で、おかあさんに てがみを かいてみましょう。

おかあさんへ

--	--	--	--

ぶんを よんで かんがえよう (こたえのれい)

なまえ

◎つぎの ぶんを よんで、こたえましょう。

かおるさんは、おかあさんに おべんとうをつくらしてもらいました。

おかあさんは、どのように おべんとうをつくったのでしょうか。

へ おべんとうの つくりかた

はじめに、ボウルのなかに たまごを わって さとうを いれて よくまぜます。

それから、フライパンでやいて たまごやきをつくります。

つぎに、ウィンナーに ほうちょうで きりこみを いれてから おなべで ゆでて、

たこさんウィンナーをつくります。

それから、ほうれんそうを フライパンでいためて、しおを いれて あじをつけま
す。

、たきたての ごはんをにぎって、のりでまいて

おにぎりを ニー つくります。おにぎりの なかみは、

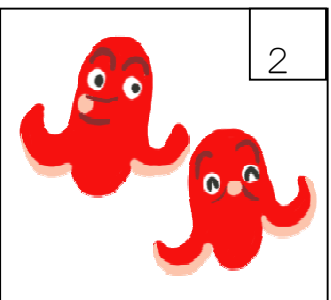
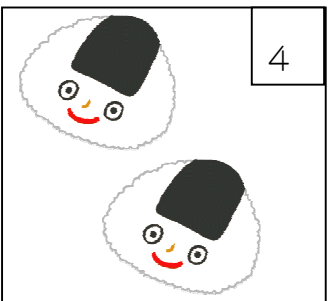
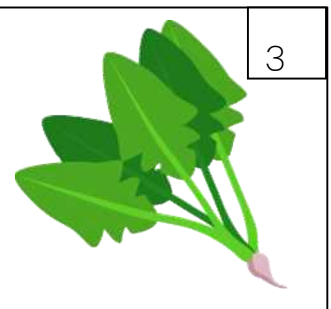
かおるさんの だいすきな さけと うめぼしです。

できあがった おにぎりとおかずを おべんとうばこの

なかに ぜんぶいれて、かんせいです。



① おかあさんが つくった じゅんばんに ばんごうを かきましよう。



② おべんとうをつくるときにつかったどうぐのくみあわせで ただしいものはどれでしょうか。○をつけましょう。

ア ほうちよう フライがえし おさら ()

① フライパン ボウル ほうちよう ()

ウ ボウル まないた おなべ ()

③ おかあさんは、どうして おにぎりの なかみを さけと うめぼしにしたのですか。あてはまることを かんがえて、ハもじで かきましょう。

さけと うめぼしは、

か	お	る	さ	ん	が	す	き
---	---	---	---	---	---	---	---

だから。

(解答例「かおるがだいすき」・「かおるのこうぶつ」でもよい。)

④ にはいる ことばとして よいものに、○をつけましょう。

ア また イ しかし ウ それでも (エ) さいごに

⑤ かおるさんは、おべんとうをもって、えんそくに いきました。そして、いえに

かえってから おかあさんに てがみを かきました。 かおるさんに なったつもり

で、おかあさんに てがみを かいてみましょう。

おかあさんへ

かいどうれい

(解答例) おかあさん、おべんとうをつくってくれて、ありがとう。とてもおいしかったよ。たまごやきは あまくて、ほつたがおちるくらいでした。

かんしゃ きもち

べんとう おい

ぐたいてき

か

せいどう

(おかあさんへの感謝の気持ちや、お弁当が美味しかったことなどが具体的に書かれていれば、正答。)